

X年11月上旬 精神症状が落ち着く

☞食思が出てきたが、咽頭部の違和感の訴えあり。
「唾液を飲み込むときにゴクンでなくコクンとなる」

食形態：特軟菜流動食C（半量、全粥）※経管併用（MA-8、アバンド）
摂取量（平均）：主食 0.2／副食 0.2 体重：36kg（BMI：15.4）

- ・ Bed up60度、小スプーン使用して自力摂取可能。
 - ・ 1口当たり反復嚥下を要す（1回嚥下のみではムセあり）。
- 嚥下時に圧抜け音が聴取されたことから、嚥下圧がかかりにくく、咽頭クリアランスが低下していると思われた。開鼻声、氣息性嘔声、声量の低下を認め、関連があると思われた。
- ・ 嚥下のタイミングは良好で、とろみなしでも摂取可能。
 - ・ 食事耐久性は15分程度。
- ➡耐久性低いため、少量頻回の食事をすすめた（間食など）。
反復嚥下や交互嚥下など食事方法の指導をした。